

就職試験が一段落して、専門学校も続々と結果が届いています。一方で大学の推薦入試は来月(11月)から始まります。3年生の進路概況の中間結果をお届けします。

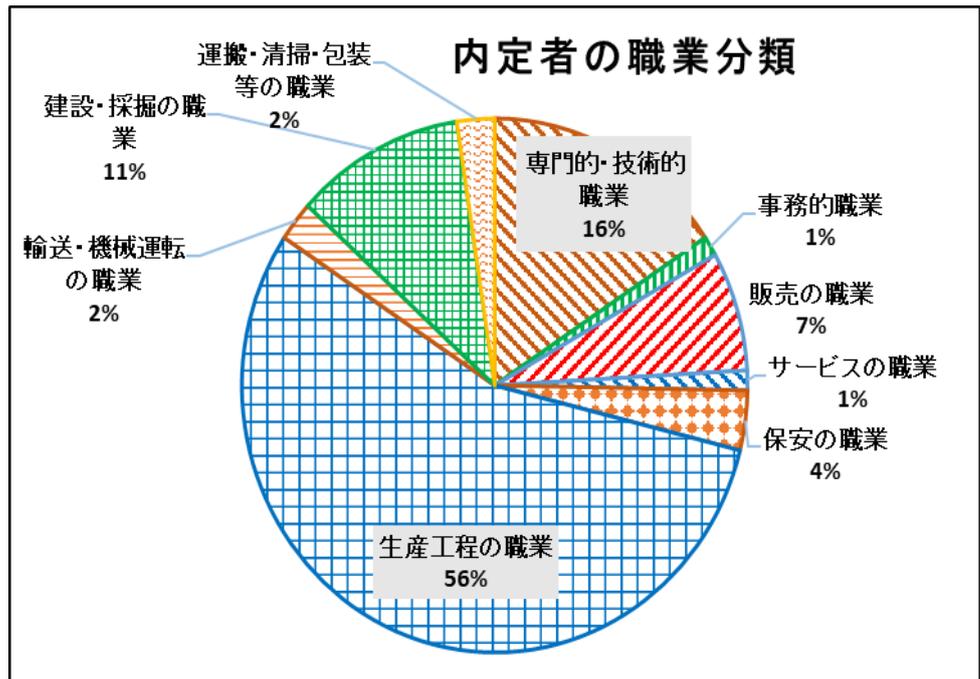
1 就職予定者 83名の職業分類

(10月末時点でまだ結果待ちの人も若干名いるので多少の移動は生じる可能性があります。)

右の円グラフは就職内定した3年生の職業分類です。分類方法は内定企業の求人票の記載にある厚生労働省の職業分類に基づいています。

電気工事関係の職業は、「専門的・技術的職業」か「建設・採掘の職業」に分類されてカウントされています。

工業高校なので「事務的職業」の求人はもともと少なく、実際には1名が応募して内定しました。



今年の就職活動では、面接は元気よくこなせたもののSPI試験で苦戦した人が何人かいました。SPIとは能力と性格を測る筆記試験です。SPIの能力検査では言葉の意味や話の要旨を理解できるか、数的な処理や思考力があるかなどが試されます。性格検査では考え方や行動に関する質問からどのような仕事に向いているかなどを把握するための検査です。SPIの能力検査は1,2年生が今から取り組めば確実に伸びます。また日ごろの授業や部活、行事への取り組みの積み重ねることで様々な能力が伸びが期待できます。充実した日々を過ごすように心掛けてください。

11月2日現在の求人件数と求人数

2 進学状況

	県内	県外	合計
求人件数	573件	800件	1373件
求人数	635人	800人	1435人

進学希望者は全部で78名います。

専門学校は指定校入試、公募推薦の

入試が一段落して10月末現在40名の生徒が内定しています。大学入試は11月に指定校入試が行われ、年内にほぼ内定する見込みです。

これから入試の面接がある進学して「何を実現したいか」、「学びたいものはなにか」など志望をしっかりと伝えるようにしておきましょう。理由に具体的なエピソードも語れるとさらにいいと思います。

3 面接で部活を語る

面接官は、ほんとは**自慢話や苦労話を求めています**。

目的意識やそれに向かって努力する継続力を聞き出したいのです。もし、**挫折した経験があるならば、その原因を分析し、乗り越えたストーリー**を語る事ができれば最高です。

さらに就職では、先輩や後輩との関係をうまく築くことができたか、あるいはチームワークで困難を乗り越えたかなども詳しく聞かれます。

1, 2年生は部活や課題研究、生徒会活動、学校行事、資格取得などで成功したことだけでなく挫折したことをしっかりと記録に残して頑張ってください。

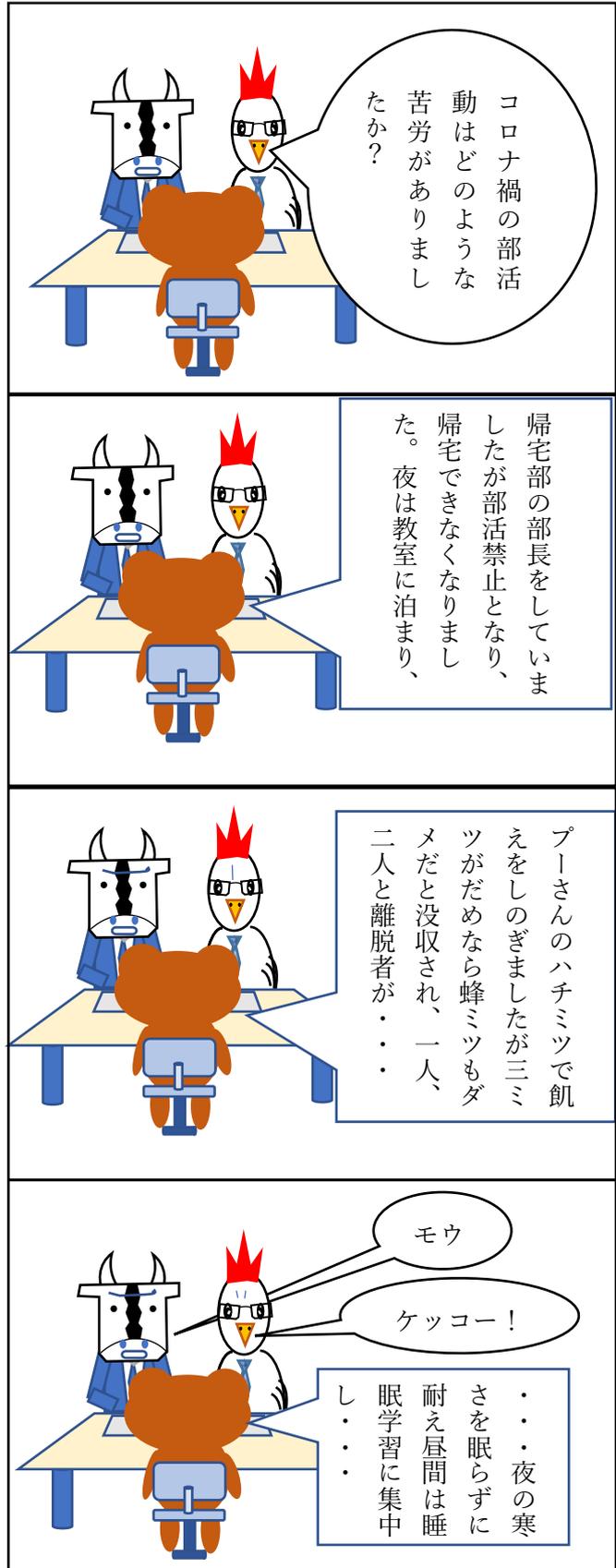
4 内定者の今後

就職内定者には今後、会社から研修会や内定式、制服の採寸などの通知が直接くることがあります。卒業式前までに開催される場合は必ず学校に連絡してください。

参加には学校の判断が必要になります。

進学者は、進学後の授業について行けるように準備を心掛けてください。

進学先からの課題の提出は言うまでもありませんが、理工系の大学ではとくに数学が難しくなります。数Ⅰ、数Ⅱの復習はもとより人によっては履修していない数Ⅲ、数Ⅱも大学ではすでに習得済みという前提で講義が行われるのでしっかりと学習しておいて下さい。



* 渋工のホームページにはカラー版の進路通信があります。